

クロシジミ

Niphanda fusca

チョウ目 シジミチョウ科

カテゴリー

大分県 IB

環境庁 I



草原疎林や荒地，堤防草地に生息する。県内では広く分布するが，その生息地は局地的である。成虫は6月下旬から発生する。雑木の小枝や葉に産卵し，幼虫はアブラムシやキジラミの分泌液を餌とする。2令以降はクロオオアリに運ばれてアリの巢中で成長する。おもな生息地である由布・鶴見火山やくじゅう山群では，観光開発や宅地開発などで草原が改変され，減少や消滅した生息地もみられ，絶滅の危険性が高い。

(写真・文：三宅 武)

県内分布 前津江村，日田市，天瀬町，本耶馬溪町，耶馬溪町，山香町，九重町，別府市，湯布院町，庄内町，大分市，久住町，竹田市，宇目町

分布域 本州，四国，九州（福岡・佐賀・長崎・熊本・大分・宮崎・鹿児島），対馬
アムール，ウスリー，朝鮮半島，中国